

2022年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任			
地歴・公民	日本史A	2	2年次	榊原 伸哉			
使用教科書	山川出版社 日本史A 改訂版		使用副教材	第一学習社 最新日本史図表 四訂版			
科目の目標				道徳教育のねらい			
我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				客観的かつ公正な資料に基づいて、事実の正確な理解に導くようにするとともに、多面的・多角的に考察し公正に判断する能力を育成する。			
学習活動内容		市函DP					
		1	2	3	4	5	6
		主体的 学習力	基礎力	思考・ 分析力	発信・ 表現力	自己認知 ・協働力	計画 実行力
1	第1章 開国と維新	○	○	○			
2	第2章 近代国家の形成と発展	○	○	○			
3	第3章 産業化の推進と国民生活の変化	○	○	○			
4	第4章 第一次世界大戦と大正デモクラシー	○	○	○			
5	第5章 第二次世界大戦と日本	○	○	○			
6	第6章 占領下の日本	○	○	○			
7	第7章 日本の自立と経済成長	○	○	○			
8	第8章 現代の世界と日本	○	○	○			
9	グループワーク	○	○	○			
10	課題提出	○	○	○			
11	考査	○	○	○			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断		技能・表現		知識・理解	
	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めるとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。		我が国の歴史の展開に関する諸資料の中から有用な情報を選択し、活用するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。		我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立って総合的に理解し、その知識を身に付けている	
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。						
		授業での取組	課題への取組	定期考査	提出物	その他の資料	その他
	関心・意欲・態度	○	◎		◎	○	
	思考・判断	◎	○	○		○	○
	技能・表現	○		○	○	○	
知識・理解	○	○	◎	○	○		

日本史 A 授業計画

授 業 計 画				実 施 状 況	
月 (時 数)	単元・考査等 (配当時間)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時間	実施反省
前 期	4 第1章 開国と維新 (10)	<ul style="list-style-type: none"> 開国の背景と、江戸時代の国制・経済・学問について学習し、維新への移行経緯を理解する ペリー来航による開港の影響と諸条約の締結について理解する。 幕府主体の政治体制が崩れる過程と政治の動向について多角的に考察する。 天皇制の復活と、明治政府の諸政策について、政治・社会・文化の側面から考察する。 外交方針の対立と、対外関係を士族の動きと共に捉える。 	1 明治維新の背景 (2)		
			2 西洋への開国 (2)		
	5 第2章 近代国家の形成と発展 (11)	<ul style="list-style-type: none"> 憲法を主軸においた国家作りと民権運動について、その動向を多角的・多面的にとらえて考察する。 憲法の制定と国会の開設、及び初期議会の動向に着目し、国家の展開を理解する。 明治初期のアジアの動向と条約改正問題について、その問題点と過程について理解する。 日清戦争の過程とその後列強進出についてその背景と結果について考察する。 政党内閣の出現と藩閥の形成について、元老たちの役割も踏まえ理解する。 日露戦争勃発の背景及び過程について理解し、三国干渉の経緯も含め考察する。 日露戦争の結果がもたらした影響と韓国進出の過程について理解する。 	3 政治秩序の崩壊 (2)		
			4 王政復古と急進的改革 (2)		
			5 新たな対外 関係の樹立と内乱の終結 (2)		
			1 立憲政治をめざして (1)		
			2 憲法の制定と議会の開設 (2)		
			3 東アジアの国際環境と条約改正問題 (2)		
6 第3章 産業化の推進と国民生活の変化 (5)	<ul style="list-style-type: none"> 産業革命をもたらした当時の背景と、政府・民間企業の役割について理解する。 産業革命の進展により資本主義が確立し、財閥が形成されたことを理解する。 急速な産業化がもたらした労働・公害問題と社会主義運動について理解する。 明治維新以降に生まれた西洋化と伝統を重んじる二つの側面を持った文化の形成について考察する。 人々の生活が西洋化と共に変化していった様子を理科いすと共に都市と農村の違いについて考察する。 	4 清国との戦い (1)			
		5 藩閥・政党の対立と協力 (1)			
後 期	7 第4章 第一次世界大戦と大正デモクラシー (11)	<ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦が、日本の東アジアにおける勢力拡張の動きに影響を与えたのはなぜか、国際政治や国内の動向を踏まえ多面的に考察する。 政党内閣の成立の背景について考察し、政治の動向や社会の変化について考える。 第一次大戦の戦勝国が協力した国際協調と軍縮について考察する。 政党政治の変遷と限界、政権交代の仕組みについて理解する。 第一次世界大戦後の経済と社会の変化について、関東大震災が与えた影響を考慮して考察する。 生活のスタイルや大衆文化に着目し、現在との共通点や違いについて理解する。 	1 産業革命の進展 (1)		
			2 資本主義の確立とその特色 (1)		
			3 社会問題の発生 (1)		
			4 国民文化の形成 (1)		
			5 国民生活の変化 (1)		
	9 第5章 第二次世界大戦と日本 (13)	<ul style="list-style-type: none"> 恐慌が頻発した時代、日本経済・政治はどのように対処したのか、日本社会への影響を考察する。 強調外交のゆきづまりについて、対中政策の変化と共に考察する。 関東軍の軍事行動による満州事変と日本の国際的孤立について、世論を踏まえて考察する。 五・一五事件や二・二六事件によって政党内閣の時代が終わり、軍部が台頭した経過を理解する。 盧溝橋事件に始まる日中戦争の長期化が日本の社会・経済に与えた影響を考察する。 第二次世界大戦後のドイツ、イタリアとの同盟が日本に与えた影響と同盟締結にまで至る経緯について理解する。 太平洋戦争に至った経緯と国内の動向、植民地化の状態について考察する。 戦局の悪化から敗戦に至るまでの経過について考察する。 	1 第一次世界大戦と日本の外交 (2)		
			2 デモクラシーの高まりと政党 (2)		
			3 国際協調と軍縮の進展 (2)		
10 第6章 占領下の日本 (8)	<ul style="list-style-type: none"> GHQの民主化政策について考察する。 日本国憲法を柱に構築された日本の民主主義について理解する。 戦後の政治・経済混乱期をいかにしてのりきったか考察する。 	4 政党政治の時代 (2)			
		5 大戦中から戦後の経済と社会 (2)			
11 第7章 日本の自立と経済成長 (6)	<ul style="list-style-type: none"> 国内政治の節目となる55年体制について理解する。 日米安保と市民・学生運動について理解する。 年平均10%を記録する日本経済の要因と日本社会への影響について考察する。 	6 都市化と大衆文化 (1)			
		7 第二次世界大戦と世界新秩序 (1)			
		8 太平洋戦争 (1)			
12 第8章 現代の世界と日本 (7)	<ul style="list-style-type: none"> 石油危機を乗り越えた日本経済を世界の動向との比較から考察する。 自民党の政権転落による政局の流動化について考察する。 日米摩擦の激化と経済大国の苦悩を考察する。 テロの頻発と新しい安全保障について皇位札する。 	9 昭恐恐慌 (1)			
		2 協調外交のゆきづまり (1)			
		3 満州事変から国際的孤立へ (2)			
1	第6章 占領下の日本 (8)	<ul style="list-style-type: none"> GHQの民主化政策について考察する。 日本国憲法を柱に構築された日本の民主主義について理解する。 戦後の政治・経済混乱期をいかにしてのりきったか考察する。 	4 軍部の政治的台頭 (2)		
5 中国との戦い (2)					
2	第7章 日本の自立と経済成長 (6)	<ul style="list-style-type: none"> 国内政治の節目となる55年体制について理解する。 日米安保と市民・学生運動について理解する。 年平均10%を記録する日本経済の要因と日本社会への影響について考察する。 	6 第二次世界大戦と世界新秩序 (1)		
7 太平洋戦争 (1)					
3	第8章 現代の世界と日本 (7)	<ul style="list-style-type: none"> 石油危機を乗り越えた日本経済を世界の動向との比較から考察する。 自民党の政権転落による政局の流動化について考察する。 日米摩擦の激化と経済大国の苦悩を考察する。 テロの頻発と新しい安全保障について皇位札する。 	8 日本の敗北 (3)		
4 21世紀の課題 (1)					